

2025 年度積雪期山岳レスキュー講習会（東部地区）

開催要項

主催 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)
主管 JMSCA 遭難対策委員会
協力 JMSCA 登山医科学委員会
共催 特定非営利活動法人日本雪崩ネットワーク

1. 開催趣旨 雪崩知識の普及と遭難事故現場に必要な救助技術の習得・研鑽を目的とする。

2. 開催期日 2026 年 1 月 23 日(金) 9:30 ～ 25 日(日)

※解散時刻はクラスによって異なります。

クラス 1	16 時
クラス 2	12 時
クラス 3	13 時

3. 集合

日時 2026 年 1 月 23 日 9 時 30 分（受付開始：9:00）

場所 谷川岳ドライブイン 2 階 <http://www.tanigawadake-drivein.com>

〒379-1728 群馬県みなかみ町湯掛曾 220 TEL：0278-72-5222

※ 除雪作業の都合で 8 時 30 分以前の施設への車両の乗り入れはご遠慮ください。

※ 車両の駐車は会場移動の都合でクラス別の駐車をお願いします。現地の係員に従ってください。

※ 受付開始時刻以前の施設への立ち入りもご遠慮ください。

4. 応募対象者、定員およびクラス編成

1) 応募対象者（以下の条件を満たす方）

18 歳以上の方で現在雪山登山、BC スキー・スノーボードを行っており、雪崩に関する知識および雪山でのレスキュー技術の習得を希望される方。

※ 居住地に関係なく参加可能です。

2) 講習内容および定員

① クラス 1（定員 16 名）

日本雪崩ネットワーク（JAN）の AvSAR 基礎コース（1 日間）とベーシック・セイフティキャンプ（BSC：2 日間）を 3 日間で通して実施するクラスです。雪崩の安全対策にかかる事項を雪崩のメカニズム、雪崩地形、雪崩リスクの考え方から雪崩事故の捜索・救助の基礎まで体系的に学びます。本コースは JAN の他コース受講の際の受講歴として利用可能です。JAN の正規講師が担当します。

② クラス 2（定員 18 名）

雪崩ビーコンの基本的な操作が出来る方を対象に、日本雪崩捜索救助協議会の指導内容に沿って AvSAR（雪崩捜索救助）を学び、さらに山岳医また山岳看護師による容態確認、低体温症などに対するケア、その後の安全地帯への退避、ビバークまでを自身のパーティ内で行えるように雪山でのレスキューを総合的に学ぶ事ができます。

③ クラス 3（定員 8 名・最少催行人数 4 名）

雪崩事故に遭遇しバイスタンダーによる救助活動を行い埋没者の救助に成功した後、容態確認、保温梱包の施し方、消防や警察等の 2 次救命へ引き渡すまでの搬送方法等の技術を中心とした内容となります。室内での机上講習ののちフィールドにて実践を行います。

5. 講師

JMSCA 遭難対策委員会及び登山医科学委員会所属の日本スポーツ協会公認スポーツコーチ
医師、日本雪崩ネットワーク講師。

6. 別紙 1～3 のクラス別の講習会持参品を必ずご確認ください。

7. 受講費

クラス 1 : 19,000 円

クラス 2 : 16,000 円

クラス 3 : 16,000 円

(受講費には講習および教材費、保険等を含みます。宿泊費・施設利用料、希望による昼食は別途必要です。)

8. 宿泊及び施設利用に関して

受講料の他に講習会場の宿泊費または施設利用料のどちらかが必要になります。

○ 宿泊希望者

主催者側で宿泊予約を取り纏めますので、宿泊希望者は参加申込フォームにご入力ください。なお宿泊料金は当日土合山の家にお支払いください。

宿泊施設詳細 : 土合山の家 <https://www.doai-yamanoie.com/>
〒379-1728 群馬県利根郡みなかみ町湯桧曽 220 TEL : 0278-72-5522

宿泊費 22,500 円/2 泊 (税込み 朝夕食付、暖房費、施設使用料込み)

○ 宿泊を希望されない方

講習会場以外の宿泊や自宅からの通いで参加が可能です。

土合山の家での宿泊を希望されない方は、施設使用料が必要になります。当日土合山の家にお支払いください。施設使用料には講習実施中の講習会場、駐車場および温泉の利用費が含まれます。なお、施設使用料を支払っても、施設敷地内でのテント泊・車中泊はできません。

施設使用料 9,000 円 (3,000 円/日)

○ 昼食

昼食は、宿泊・施設利用者に関わらず現地で注文可能です。(別料金)

注文可能な日にちとメニューはクラスによって異なりますので、当日集合時にご確認ください。

9. 受講申込

1) 申込方法

以下または JMCSA ホームページ上の 2025 年度 積雪期山岳レスキュー講習会参加申込 URL より入力願います。参加申込書 URL からの入力以外の申込みは受けません。

クラス 1 : <https://forms.gle/EV9GDh6eLL96Q7WH9>

クラス 2 : <https://forms.gle/9coh3xiYse7JKVwt7>

クラス 3 : <https://forms.gle/BCdSJ8zJgeLcDDHZ8>

2) 申込受付期間 2025 年 12 月 1 日 (月) ~ 2026 年 1 月 9 日 (金)

- ・申し込まれた方には 1 週間を目途に順次受付可否と受講料振込案内の返信を致します。
- ・受付可否の返信が到着しないときは恐れ入りますが問合せ先へメールでご確認願います。
- ・募集定員に達した時点で締め切りになります。
- ・最少催行人数を設定したクラスは、2025 年 12 月 31 日までに達しない場合は廃クラスとなります。

10. 受講費払込

受講決定者には決定通知書をメールで送付致します。

決定通知書に記載された口座へ期日までに受講費の振込をお願いします。

11. 受講のキャンセル 末尾記載の問い合わせ先へ必ずメールにて連絡願います。

- ・1 月 9 日までは 2,000 円を差し引き返金します。
- ・1 月 10 日以降のキャンセルについてはご入金された受講料は返金致しません。

12. その他留意事項

- 1) 保険 主催者で傷害保険に加入します。
- 2) 講習会持参品 クラス1は別紙1、クラス2は別紙2、クラス3は別紙3を参照願います。
- 3) その他の費用 会場までの交通費及び現地での移動経費は、受講者の負担となります。
- 4) 昼食 各自。現地での申し込みによりレストランや弁当の利用も可能です。
- 5) 修了証授与 この講習会に全日程参加し、修了したと認められた者には修了証を授与します。
- 6) この事業はスポーツ振興くじTOTOの助成金を受けて実施しています。
- 7) 問い合わせ **お問い合わせは原則メールでの受付となります。**
下記のEメールアドレスへお願い致します。
Eメールアドレス soutai@jma-sangaku.or.jp

緊急時：JMSCA 事務局

受付時間：祝日および年末年始（12月29日～1月3日）を除く月～金曜日の
午前10時～12時 午後1時～5時
電話番号：03-5843-1631

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

別紙 1

クラス 1 開催要項

解散時刻 25 日 16:00

- ・ **講習の目的**：雪崩に関する基礎事項（雪崩メカニズム、地形、リスクの考え方、探索・救助など）を体系的に学び、雪崩安全対策の総合的な知識の習得を目指します。実地講習には雪崩ビーコンの基本的操作と基礎の探索・救助に関する事項も含まれます。

- ・ **参加要件**

クラス 1 に参加を希望される方は、以下の全てに該当される方とさせていただきます。

- ・ 雪山での活動経験が既にある方（程度や回数は不問なので初級者でも可）
 - ・ ビーコンの取り扱い方法（スイッチの ON、OFF、SEND、SEARCH の切替操作）が行える方
 - ・ 事前に指定した Web 教材による学習課題を履修できる方
- ・ クラス 1 は、事前の Web 教材の視聴を前提に講習を行います。

Web 教材の詳細については、受講決定者に別途ご案内いたしますので、当日までに必ず履修を済ませてください。当日の講習は履修済みとして実施します。

※クラス 1 は、日本雪崩ネットワークの AvSAR 基礎と登山者対象のベーシック・セイフティキャンプ（BSC）のプログラムに基づいて実施します。

※ 積雪状況によっては、フィールド講習を谷川岳天神平で実施する可能性があります。その際は、谷川岳ロープウェーの往復乗車券（宿泊先の割引券あり）が各自のご負担となります。

※ 最終日、公共機関利用者で列車・バスの時間の都合がある方は、現地で担当講師にご相談ください。

クラス 1 講習会持参品（講習内容により使用しない場合もあります）

品 名	◎：必須、 ○：あれば持参
昼食（1 日目は室内、2・3 日目はフィールドでの昼食：弁当等の注文可能）	持参または現地注文
テキスト「雪崩リスク軽減の手引き」（詳細は後日ご連絡いたします）	○
筆記用具（2～3 色のペン）	◎
雪山フィールドで使えるメモ帳・メモ用紙	◎
ストック	◎
ワカンまたはスノーシュー	◎
スノーソー	○
シャベル	◎
雪崩ビーコン（デジタル式）、予備電池	◎
プローブ	◎
ザック、その他雪山登山用の衣類・装備（※アイゼン・ピッケルは不要）	◎

（その他の留意点）

机上講習場所から離れた山岳域での行動を含んだ講習が含まれておりますので、雪上での行動を考慮した衣類・装備を、またフィールドでの説明を聞く時間もありますので十分な防寒対策をお願い致します。

※持ち物にはご自身の物と分かるように記名や目印などをお願いします。

別紙 2

クラス 2 開催要項

解散時刻 25 日 12 : 00

- ・ **講習の目的** : 雪崩事故に遭遇してしまった仲間の救助や他パーティに援助を求められた場合の搜索活動を学習します。一人埋没、複数埋没、近接埋没、深い埋没など複雑な状況下でも対応できる技術や知識を学習します。また、発見後の掘り出しや要救助者のケアや搬送するために必要な梱包技術、安全地帯へ移動するための搬送方法も学習します。降雪や荒天などによって待機せざるを得なくなった場合を想定してビバーク方法を学習します。
- ・ **参加要件** : 雪崩ビーコンの基本操作ができる方
 - ①雪崩ビーコンのスイッチ ON/OFF・SEND/SEARCH の切り替えディスプレイの見方や記号等の理解ができる方
 - ②個人練習や講習会の受講経験者など、雪崩ビーコンを使用したことがある方
- ・ **事前の学習** : クラス 2 に参加される方は予習してください。
 - ①ご自身が使用する雪崩ビーコンの取扱説明書をお読みください
 - ②AvSAR・日本雪崩搜索協議会 HP の雪崩搜索救助マニュアル PDF をお読みください
リンク先 : https://avsarjapan.org/pdf/AIM%20manual_231123.pdf
 - ③AvSAR・日本雪崩搜索協議会 HP の基本スキルをお読みください
リンク先 : <https://avsarjapan.org/resources03/>
 - ④AvSAR・日本雪崩搜索協議会 HP の練習ドリルで練習してください
リンク先 : <https://avsarjapan.org/resources01/>

クラス 2 講習会持参品 (講習内容により使用しない場合もあります)

品 名	◎ : 必須 ○ : あれば持参
昼食 (1 日目、2 日目は室内、3 日目は不要)	持参または現地注文
雪崩ビーコン (デジタル式)、予備電池	◎
雪崩ビーコン取扱説明書	◎
筆記用具およびメモ帳等	◎
シャベル	◎
プローブ	◎
ヘルメット	◎
ザック	◎
ワカンまたはスノーシュー	◎
ストックまたはピッケル	○
ソウンスリング 120cm×2 本 60cm×2 本	◎
カラビナ 3 枚 (※ロック付き 1 枚を含む)	◎
保温ポット (テルモス類) 簡易水筒 (プラティパスなど)	◎
その他雪山登山用の衣類・装備 (※アイゼンは不要)	◎

(その他の留意点) 山岳域での行動を含んだ講習が含まれておりますので、防寒対策をお願い致します。

※持ち物にはご自身の物と分かるように記名や目印などをお願いします。

別紙 3

クラス 3 開催要項

解散時刻 25 日 13 : 00

- ・ **講習の目的**：雪崩遭難に遭遇してしまった仲間や他パーティに援助を求められ捜索・掘り出した要救助者に対し、救助組織（消防・警察）へ引き渡すまでの手法や流れを学習します。容態確認、保温・梱包、搬送方法、それに伴うロープワーク・支点など、セルフレスキューによる一次救命の大切さを一連の流れで学習します。

- ・ **参加要件**

雪崩ビーコンによる捜索及びロープの結束ができる方

※クラス 3 受講者は経験、技術の習得度合により、講師がクラス変更をお願いする場合があります。

クラス 3 講習会持参品

品 名	◎：必須 ○：あれば持参
昼食（1 日目、2 日目は室内、3 日目は不要）	持参または現地注文
筆記用具	◎
雪崩ビーコン（デジタル式）、予備電池	◎
シャベル	◎
プローブ	◎
ヘルメット	◎
ザック	◎
下降器・確保器	◎
安全環付きカラビナ（適量）	◎
スリング（適量）	◎
PAS	○
保温ポット（テルモス類）	○
ワカンまたはスノーシュー	◎
ストックまたはピッケル	◎
その他雪山登山用の衣類・装備（＊アイゼン、ロープ類は不要）	◎

（その他の留意点）山岳域での行動を含んだ講習が含まれておりますので、防寒対策をお願い致します。

※持ち物にはご自身の物と分かるように記名や目印などをお願いします。

以上